

なんば駅周辺における空間再編推進事業

大阪市では、令和4年7月に策定しました「なんば駅周辺における空間再編推進事業整備プラン」に基づき、世界をひきつける観光拠点として、上質で居心地の良い空間の創出をめざし、より歩行者にとって安全で安心な空間となるよう、なんば駅周辺道路空間の再編に取り組んでいます。

■ なんば駅周辺における空間再編推進事業 整備プラン

<コンセプト（めざすべき方向性）>

(1)新たなシンボル空間の創出 (2)世界をひきつける観光拠点づくり

- なんば駅周辺の道路空間を、車中心の空間から人中心の空間へと再編し、世界をひきつける観光拠点として上質で居心地の良い空間を創出
- ポストコロナの取組みとして、2025年大阪・関西万博に向けて整備を推進

<整備計画>

①：駅前広場

- 中央は活用エリア、外周部は歩行者の通行空間を確保し、憩いの空間と日常のにぎわいを両立
- 人が美しく見える舞台として、上質感・落ち着き感を感じさせる空間を形成

②：なんさん通り(南北)

- 駅前広場と連続した高質性を感じながら、歩いて楽しい歩行者重視の安全・安心な空間を創出



■ なんば広場（仮称）先行オープン

- なんば駅前の広場部を、令和5年11月23日に「なんば広場（仮称）」として先行的にオープン。
- なんば広場（仮称）では、再編後の道路空間におけるにぎわいの持続的な発展のため、行政と適切に役割分担を行いながら、地域と連携したエリアマネジメント組織が担い手となる管理運営をめざし、広場のオープン後、2025大阪・関西万博に向けて当面の間、本市と地元団体が連携しながら広場の管理運営を行う社会実験を実施。



大阪市：報道発表資料 [なんば広場（仮称）の先行オープンについて \(osaka.lg.jp\)](https://www.osaka.lg.jp/)